麗しのサブリナ（1954）

SABRINA

メディア	映画
ジャンル	ロマンス　コメディ
製作国	アメリカ
色彩	B&W
時間	113分
初公開日	1954/09/17
公開情報	ＰＡＲ
映倫	G
リバイバル	2013/09/28［マーメイドフィルム］デジタル・リマスター版

【解説】

サブリナ・パンツという言葉を生んだスポーティなオードリーのスタイルが、前作「ローマの休日」とはまた違って魅力的な、Ｂ・ワイルダー監督作（衣装のイーディス・ヘッドはオスカーを得た）。原作はＳ・テイラーの舞台劇。玉の輿路線は相変わらずだが、それが少女小説（マンガ）の永遠のテーマというもの。大富豪ララビー家のお抱え運転手の娘サブリナは、一家の次男デヴィッド（Ｗ・ホールデン）に失恋し、二年をパリの花嫁学校で送る。しかし、帰ってきた時には見違えるようなシックな令嬢となっており、デヴィッドをドギマギさせる。彼女に夢中な弟を心配した長男のライナス（Ｈ・ボガート）は仕事一筋のマジメ男だが、彼までサブリナの虜となって……というお話で、いささか歳は喰っているがボギーがやっぱり素敵。心優しい彼にサブリナならずとも結局、女性は夢中になるはずだ。パンツから艶やかなドレス姿に……。それはまさに現代のシンデレラ物語。有名なシャンソン“バラ色の人生”が主題歌。後に「サブリナ」としてリメイクされる。

【クレジット】

監督	ビリー・ワイルダー	Billy Wilder
製作	ビリー・ワイルダー	Billy Wilder
原作	サミュエル・テイラー	Samuel Taylor
脚本	ビリー・ワイルダー	Billy Wilder
	サミュエル・テイラー	Samuel Taylor
	アーネスト・レーマン	Ernest Lehman
撮影	チャールズ・ラング・Ｊｒ	Charles Lang Jr.
衣装デザイン	イーディス・ヘッド	Edith Head
音楽	フレデリック・ホランダー	Frederick Hollander
出演	オードリー・ヘプバーン	Audrey Hepburn
	ハンフリー・ボガート	Humphrey Bogart
	ウィリアム・ホールデン	William Holden
	ジョン・ウィリアムズ	John Williams
	フランシス・Ｘ・ブッシュマン	Francis X. Bushman
	マーサ・ハイヤー	Martha Hyer
	マルセル・ダリオ	Marcel Dalio
	ウォルター・ハンプデン	Walter Hampden
	ジョーン・ヴォーズ	Joan Vohs

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

ネラ・ウォーカー	Nella Walker
マルセル・ヒライヤー	Marcel Hillaire

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.